



2018年11月より、都内の生協としてはじめての児童発達支援と放課後等デイサービス事業が稲城でスタートしました。スタートから約3か月経ち、現在職員は26名。経歴が異なるメンバーがスキル

しみ、安心して過ごせる環境(人・場所)であることはもちろんですが、子育てを応援する仲間として家族にとっても安心の拠点と感じてもらえるよう努力していきたい、と施設長の中村さん。

日々子どもたちの過ごし方は、宿題をしたり、好きな遊びをしたりと様々。スタッフと一緒におやつを作ったり、作品を作ったり、公園に行ったりもするそうです。施設内には所々にかわいくて素敵な装飾がされていて、子どもたちが喜ぶ様子が伺えました。また、子どもたちがそれぞれに好きなシールを貼って作った名札や、スタッフと段ボールで作成した大きなお家など、手作りの作品がたくさんあり、とても暖かい雰囲気が伝わってきました。

(インクルーシブ事業連合事務局 藤田彩加)



児童発達支援スタッフの皆さん



放課後等デイサービススタッフの皆さん

児童発達支援では利用者を募集しています。
お問い合わせ あのお家
TEL・FAX 042-401-5556



アップをしながら働いています。児童発達支援では、発達に気になる未就学のお子さんを対象に発達支援を行い、現在2名のお子さんが通っています。放課後等デイサービスでは学校に通う、療育を必要とするお子さんが授業終了後や土曜日、長期休みに利用し、利用者は現在9名。4月には23名になりそうです。

保護者と面談を何度も重ね、信頼関係を築き、子ども本人の意思や気持ちを尊重して通所を決めていきます。その後丁寧なアセスメントから個別支援計画を作成し、個々の課題に沿って発達を支援します。ひとりひとりの状態や特性を丁寧にとらえていくことがとても大切。子どもたちが発達段階や年代に応じた「遊び」を楽



施設長の中村美保子さん



子どもたちとスタッフが一緒に作ったあのお家

「安心ケアセンター・悠遊えごた」が完成！

社会福祉法人悠遊の新たな高齢者福祉施設が中野に完成しました。

昨年11月30日、社会福祉法人悠遊の新たな高齢者福祉施設「安心ケアセンター・悠遊えごた」が中野区に完成しました。完成までには、中野地域協議会、北東京生活クラブ、生活クラブ東京、運動グループのメンバーがプロジェクトを立ち上げ、何度も検討を重ねてきました。「グループホームえごた」(認知症高齢者グループホーム)は3月1日に開所となり、「小規模多機能ホームえごたの家」(小規模多機能居宅介護)、「24時間ホームケアえごた」(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)、「訪問サービスえごた」(ヘルパーステーション)の3つの事業所は開所に向け準備中です。いずれも住み慣れた地域で安心して住み続けるための機能です。また、「地域ふれあいスペースえごた」は地域に開かれた拠点として、地域住民同士の交流、地域住民と悠遊の交流、運動グループの活動の場として活用します。このスペースの開設にあたっては、中野地域協議会からの

寄付もあり、鏡が設置されました。また、屋上にはエコメッセの太陽光発電所「エコメッセ市民発電所2号機」が設置されています。

各事業所では現在も職員を募集中です！

①利用者が自分でできることを奪わないケア ②極力、生活クラブ消費材を使った食事の提供 ③地域に根ざし、開かれた施設にすることを大切にしています。採用条件など、詳しくは下記にお問い合わせください。

社会福祉法人悠遊(法人本部)
TEL 042-439-6501 FAX 042-425-2662
Eメール: izumi@you-you123.com



1月26日に日本ファンドレイジング協会の鴨崎貴泰さんを講師に招き、ファンドレイジング講座を行いました。たすけあいワーカーズや運動グループのメンバーが参加し、自分たちの活動に共感する支援者を増やし、継続的なつながりをもつための手法やアプローチ方法を学びました。

講座では、団体の持つ潜在力の棚卸し方法や、理事やボランティアが団体にどのように関わるか、ファンドレイジングの計画の立て方など、具体的な手法を学ぶことができました。また、グループワークでは、事例を元に団体の強みをどのように生かすか、弱みをどのように克服するかの分析方法を学びました。短い時間でしたが、わかりやすく丁寧に説明して下さり、とても内容の濃いお話を聞くことができました。

参加者からは、「ファンドレイジングについて勉強したいと思っていたところだったので、入門として、とても良い機会でした。ぼんやりと考えていたことを、

チャートなどを使って整理する事はとても有効だと思います。自分たちの団体でもやってみようと思います。”“今の事業にどのように生かしていくかを、今後仲間とともに話し合うことが必要であると感じました。”“団体での活動を始めたばかりですが、寄付を募る以外にもイベントのお誘いや団体のPRに役立ちそうです。”などの感想がありました。また、分析方法や各手法をもう少し深く学びたいとの声もありました。

参加者がそれぞれの団体の活動を見直し、支援者となつながら、活動をより活発にするために何ができるかを考える良い機会となりました。

(インクルーシブ事業連合事務局 藤田彩加)



講座でのワークショップの様子



受講の様子



講師の鴨崎貴泰さん



参加者募集！！

● 基調講演「自分が望む人生の終わり方」について

人生の最終段階における医療や介護などを自分で決めておく「人生会議」のお話です。

2019年6月1日(土) 13:30~14:30 (13:00開場)

講師/辻 彼南雄(かなお)さん(医療法人社団互酬会 水道橋東口クリニック 院長、一般社団法人 ライフケアシステム 代表理事)

会場/生活クラブ館スペース1・2

(世田谷区宮坂3-13-13 経堂駅徒歩3分)

参加費/無料 どなたでも参加できます

主催・問合せ先: ACT・人とまちづくり事務局 TEL042-479-4810 FAX042-479-4860



2018年度 子育て支援フォーラム 生活クラブの学校企画

● “ふつ”ってなんだろう? 発達のでこぼこはその人の個性

～どの子ども共にのびやかに育つ環境をつくろう～

2019年3月23日(土) 14:00~16:30

講師/星山麻木さん(明星大学教育学部教育学科教授)

会場/生活クラブ館地下スペース(世田谷区宮坂3-13-13 経堂駅徒歩3分)

参加費/500円

生活クラブあのお家(児童発達支援と放課後等デイサービス)の実践報告もあります。

主催・問合せ先: インクルーシブ事業連合 TEL03-5426-5207 FAX03-5426-5203

